**「大阪市版ネウボラ」**の実施に向けた検討について　概要

全ての子育て家族にとって、安心して気軽に相談できる場を目指して

**取組１　　地区担当保健師との信頼関係の強化**

　　信頼できる保健師活動に向けて、身近な専門職としての役割の強化

**取組２　　子育て家族支援の充実**

　　母子のみならず、家族全体（家族ぐるみ）の支援を充実

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | **平成３１年度より実施する取組** | | |
| **全区で実施** | **可能な区で実施** | **モデル区で実施** |
| **地区担当保健師との信頼関係の強化** | * 集合写真等で地区担当保健師を周知 * 母子健康手帳に地区担当保健師名を明記 * 妊婦面接時に地区担当保健師を周知・地区担当保健師顔合わせ（区で手法選択） * 保健福祉センターの電話番号登録（区で手法選択） * 妊婦面接の標準化 （区で手法選択） | | * 乳幼児健診個別面接を地区担当保健師が実施 | * 妊婦相談の予約制の試行実施 * 地区担当保健師の複数化の試行実施 |
| **子育て家族支援の充実** | * 「パパと子手帳」に地区担当保健師名を明記 * ハーフバースディの取組等相談しやすい環境整備   （区で手法選択）   * 出生届・転入届時に地区担当保健師紹介   （区で手法選択） | | * 乳幼児健診の家族同伴参加の勧奨 * 母親教室から両親教室への転換（休日開催を検討） |  |

|  |
| --- |
| **引き続き検討を要する課題** |
| 所管局で引き続き検討し、区長会議及び関係部局と協議しながら進める  １　ポピュレーションアプローチの対象について   * 保育所・幼稚園等を利用していない未就学の4・５歳児への関与のあり方【こども青少年局】   ２　業務効率化について   * 業務の標準化（妊婦面接や支援プランの作成事務など）【こども青少年局】 * 母親教室の見直し（民間との役割整理）【こども青少年局】 * 妊婦面接時のＩＣＴ機器の活用【こども青少年局】 （質問時のタブレット端末等の活用などＩＣＴ化、情報のデジタル化についても検討）   ３　人的・物的資源の活用   * 保健師配置について（配置バランス、人事異動等）【健康局・こども青少年局】 * 国庫補助金※の活用【こども青少年局】 |